




採用・退職
採用医師・退職医師のご案内

【採用医師】

令和4年9月1日付採用

リハビリテーション科
医師
鄒 明憲
(すう あきのり)



令和4年10月1日付採用

産婦人科
医師
谷村 吏香
(たにむらりか)



耳鼻咽喉科
医師
松本 淳也
(まつもと じゅんや)



内科
専攻医
田中 駿二郎
(たなか しゅんじろう)



小児科
専攻医
大多尾 早紀
(おおたお さき)



産婦人科
専攻医
谷岡 桃子
(たにおか ももこ)



病理診断科
専攻医
坪井 雅敬
(つばい まさひろ)



【退職医師】

令和4年9月30日付退職

内科 医師 服部 直	内科 専攻医 岡田 梨乃	産婦人科 専攻医 西田 康平
外科 医師 岡田 尚大	小児科 専攻医 岡田 怜	病理診断科 専攻医 藤井 裕生
耳鼻咽喉科 医師 小松原 靖聡	産婦人科 専攻医 大前 彩乃	

院長の岡田裕之です。
着任して6ヶ月が経ちました。
9月から**水曜日午前外来**を始めております。
専門は消化管、特に食道・胃疾患です。
併せて**ピロリ菌専門外来**も開始いたします。
三次除菌以降の方(自由診療)、ペニシリンアレルギーの方(保険診療)
などをご紹介いただければ幸いです。
よろしくお願い申し上げます。



三次除菌の場合の診療費用(患者負担)

初診料、内視鏡検査、感染診断検査など：**保険診療**(3割負担)13,000~15,000円
除菌薬処方：**自由診療**11,000円(税込み)
除菌効果判定(尿素呼吸試験)：**自由診療**7,700円(税込み)
合計 31,700~33,700円

お問い合わせ先

地域医療連携課
TEL:079-299-5514(直通) FAX:079-299-5519(直通)

姫路赤十字病院だより

Vol.38

発行日 令和4年10月

発行 姫路赤十字病院
発行責任者 院長 岡田 裕之
編集責任者 広報委員長 石川 慎一

〒670-8540 姫路市下手野1-12-1
電話 079(294)2251代
URL: <https://himeji.jrc.or.jp/>

姫路赤十字病院だより

Japanese Red Cross Society Himeji Hospital NEWSLETTER

Vol. 38

October
2022.10

contents

- 診療科の紹介 血液・腫瘍内科
- 診療科の紹介 呼吸器外科
- 病院機能評価受審を終えて
- 赤十字救護員「こころのケア研修」を実施
- 情報セキュリティ研修会の実施について
- 医療的ケア児研修会について
- Cooperation Message 地域医療連携室
- 臨床指標
- 救護看護婦像へ献花
- 看護部研修予定一覧
- FAX 紹介について
- がん相談支援センター
- 採用・退職





01

血液・腫瘍内科

スタッフ紹介

平松 靖史 副院長(兼)第一血液・腫瘍内科部長
(兼)化学療法センター長
(兼)血液腫瘍センター長
(平成4年卒/血液・腫瘍内科)

久保西 四郎 第二血液・腫瘍内科部長
(平成9年卒/血液・腫瘍内科)

浅野 豪 第一血液・腫瘍内科副部長
(平成18年卒/血液・腫瘍内科)

猪股 知子 第二血液・腫瘍内科副部長
(兼)総合内科副部長
(平成22年卒/血液・腫瘍内科)

飛田 春那 医師
(平成24年卒/血液・腫瘍内科)

藤原 悠紀 医師
(平成25年卒/血液・腫瘍内科)

久保田 紗矢 専攻医
(平成30年卒/内科一般)

諫見 俊宏 専攻医
(令和2年卒/内科一般)



令和3年診療実績

骨髄検査	712件
骨髄生検	251件
末梢血幹細胞採取(症例数)	35例
自己末梢血幹細胞移植(症例数)	8例
同種造血幹細胞移植(症例数)	7例



血液・腫瘍内科は2007年に開設され、2022年からは血液腫瘍センターとしてグレードアップしました。白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄増殖性疾患などの造血器悪性腫瘍、再生不良性貧血、血小板減少性紫斑病、血友病などの良性的血液疾患も含め、すべての血液疾患の診療をおこなっています。

無菌室22床を有し、白血球数がほぼ0となる強度の強い治療にも積極的に取り組んでいます。一日の外来患者数は60-100名、入院患者数は60名前後と本邦で有数の血液センターとなりました。造血器腫瘍は、治療をめざせるのが大きな特徴です。従来の化学療法、造血幹細胞移植に加え、分子標的療法、モノクローナル抗体、バイスペシフィック抗体、CAR-T細胞療法などの新たな作用機序の治療法が次々と承認となりました。今まで難治と考えられていた患者さんも、長期生存を目指せるようになってきました。たとえば骨髄腫は進行期で発症すると1-3年の余命といわれていたが、現在は5-10年の延命を目指せます。

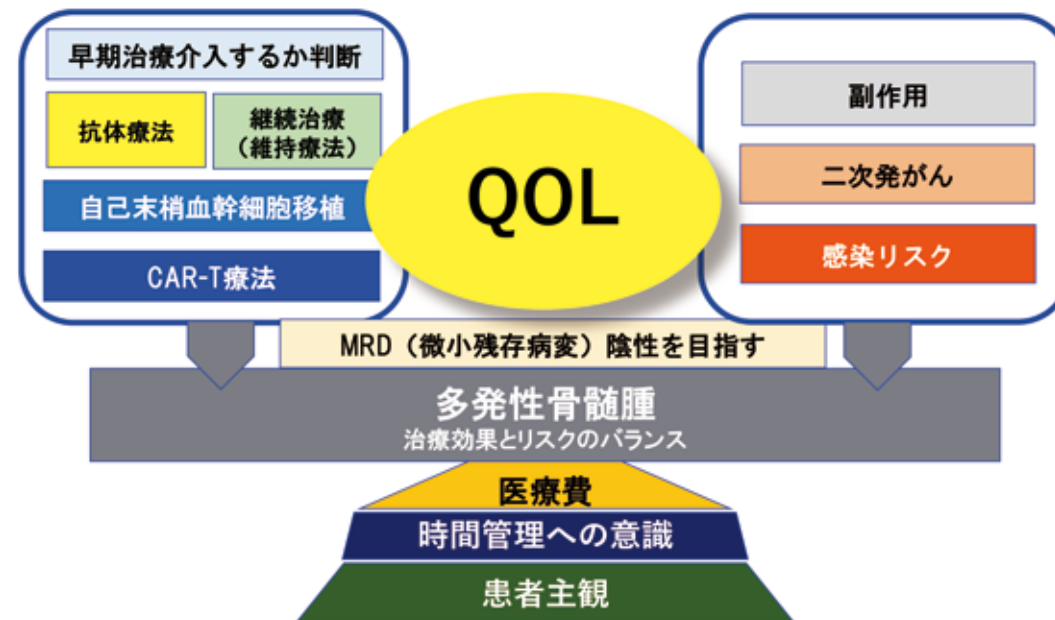
移植の分野では、造血幹細胞移植医療体制整備事業(厚労省)の地域拠点病院として健常者からの骨髄採取を積極的におこない、他人からの造血幹細胞移植治療は、最新の移植治療法を駆使して70歳まで対応しています。国内においては全国の代表的な血液施設と共同研究をおこなうとともに、国際共同治験にも積極的に参加しながら未来の新しい治療法を追求しています。

新型コロナウイルス感染症が蔓延してからは、感染リスク、重症化リスクも考慮し、化学療法施行のタイミング、治療内容を検討しなければならなくなりました。

今こそすべての医療従事者が力を合わせてこの難局を乗り越え、患者さんが希望に満ちた明るい未来に向かえるようにサポートしていきましょう。

人道・博愛の赤十字精神をもって困った患者さんには暖かい手を差し延べ、安心して治療を受けていただけるようチーム一丸となって取り組んでいく所存です。今後ともよろしくお願いいたします。

副院長(兼)第一血液・腫瘍内科部長
(兼)化学療法センター長
(兼)血液腫瘍センター長 平松 靖史



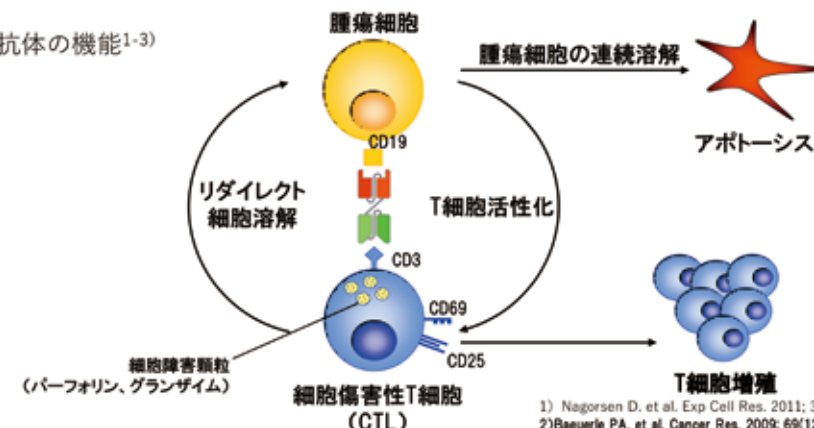
Japanese Red Cross Society Himeji Hospital

BiTE®抗体の機能設計:

BiTE®抗体はT細胞の活性化・増殖及び腫瘍細胞のリダイレクト細胞溶解を誘導する

- BiTE®抗体の2つのアームが細胞傷害性T細胞(CTL)とがん細胞を接近させ、T細胞受容体媒介性シグナル伝達カスケードが誘導する¹⁾。
- その結果、CTLと標的がん細胞の間に細胞溶解性シナプスが形成され、パーフォリンとグランザイムが放出されて標的細胞が溶解する¹⁾。

● BiTE®抗体の機能¹⁻³⁾



1) Nagorsen D. et al. Exp Cell Res. 2011; 317(9): 1255-1260
2)Beuville PA. et al. Cancer Res. 2009; 69(12): 4941-4944
3)Beuville PA. et al. Curr Opin Mol Ther. 2009; 11(1): 22-30



02

呼吸器外科

スタッフ紹介

水谷 尚雄 第一呼吸器外科部長
(兼)呼吸器センター長
(兼)感染管理室長

(平成3年卒/呼吸器外科(肺癌ロボット手術、気胸、呼吸器感染症))

田尾 裕之 第二呼吸器外科部長
(平成9年卒/呼吸器外科(肺癌ロボット手術、肺癌胸腔鏡手術))



令和3年手術実績

原発性肺がん	87
転移性肺腫瘍	27
縦隔腫瘍	10
肺良性腫瘍	4
自然気胸	3
膿胸	2
その他	13



当科の低侵襲手術への取り組み

呼吸器外科は主に肺がんの手術を行っています。当科の低侵襲手術への取り組みをご紹介します。

1.手術アプローチによる低侵襲：RATSと単孔式VATS

肺がんの手術の歴史を振り返ると1990年代に、胸腔鏡下手術(video-assisted thoracoscopic surgery: VATS)が始まり、2018年に手術支援ロボット“ダヴィンチ”を使ったロボット支援下胸腔鏡手術(robot-assisted thoracoscopic surgery: RATS)が保険適用になりました。VATSもRATSも1-3センチの数個の創で手術を行うので、従来の「開胸術」と比較すると胸壁のダメージは著しく抑えられます。当科は2019年に中播磨・西播磨地域で最初にRATSを開始し、2022年8月時点で120例を超えています(写真1)。RATSは手術数などの条件を満たす施設で専門医が行うとの制限があり、VATSとの優劣はまだ定まっていません。しかし、実際に優れた操作性を体感すると、将来的にはRATSが広く普及していくものと考えます。

一方でRATSは悪性腫瘍に保険適用が限定されており、良性疾患や術前未診断の症例には創が一つで最も低侵襲である単孔式VATSにも取り組んでいます(写真2)。

2.肺の切除量減少による低侵襲：区域切除の増加

小型肺がんの臨床研究で、従来の肺葉切除と比較して肺を温存する「区域切除」でも治療効果が得られることが証明されました。区域切除は高度な技術が必要ですが、3次元画像解析システムやインドシアニンググリーン(ICG)を用いた区域間同定法に加え、RATSによる近接視を活かして安全・確実にを行っています(写真3)。

地域の医療機関の先生方へ

今日の医療はかかりつけ医の先生方のご協力で成り立っています。当科は肺がんの患者さんが最新の標準的外科療法を当地で受けられるように精進し、皆様のお力をお借りして良質な肺がん診療の提供を目指します。

第一呼吸器外科部長 水谷 尚雄

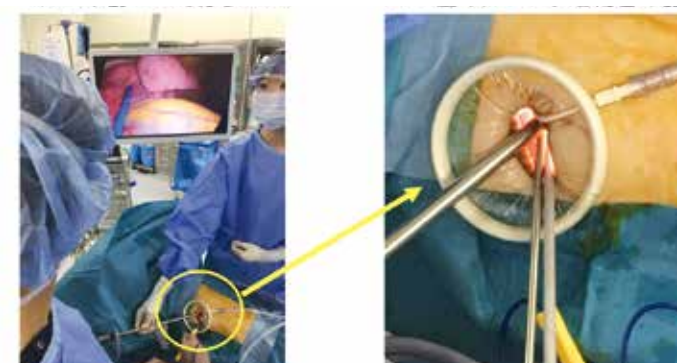
写真1:ロボット支援下胸腔鏡手術(RATS)



患者側ロボットアームの器具挿入

コンソール(操作卓)から操作

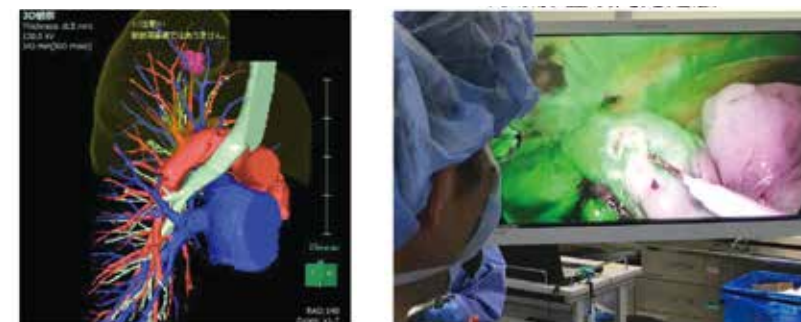
写真2:単孔式VATS



4cmの創一つで行うVATS

5mm径のスコープと術者の器具

写真3:より安全・確実な区域切除法



3次元画像解析システム

ICG肺区域間同定法



これから質の高い医療を安全に提供するために

病院機能評価受審を終えて

令和4年9月7日(水)・8日(木)の2日間にわたり財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審しました。当院は2002年に初めて受審し、5年ごとの更新審査となりますが、今回で5回目となります。

病院機能評価とは、国民が安全で安心な医療を受けられるよう、病院組織全体の運営管理及び医療提供を評価し、組織横断的な質改善活動を支援するツールと位置づけられています。当院は、地域住民の皆さんに質の高い医療を安全に提供するためのプロセスを見直し、改善策を組織全体に浸透させるための最良の機会として病院一丸となって取り組みました。

審査ですが、1日目の午前中は、第1領域中心の幹部面接、午後からは3グループに分かれ、①ケアプロセス2病棟・救急外来、②ケアプロセス2病棟・一般外来、③第4領域中心の事務部門面接・部署訪問(診療情報管理部門・防災管理・備蓄倉庫・栄養部門など)を実施しました。2日目は、2グループに分かれ、①各部署訪問(臨床研

修・入退院センター・地域連携・相談部門・検査部門・内視鏡・手術室・ICU・周産期)、②各部署訪問(放射線、薬剤、医療機器、リハビリ・中央滅菌、医療安全・感染管理)を実施し、午後に講評を頂きました。今回の病院機能評価受審を通して、「安全で良質な医療の提供」を目的とした多職種チームによる「業務改善活動」の継続と評価を行いながら長い期間をかけて準備をしてまいりました。この準備を通して病院全体で業務の改善を検討し、医療の質を向上させるきっかけを作ることができたと考えています。今回で終わりではなく、これからも「働きたい病院・治療を受けたい病院」を目指し、また地域住民の皆さんに質の高い医療を安全に提供するために、当院が地域の中心となって高度な医療を提供できるよう、継続して改善していきたいと考えております。

安全で良質な医療の評価プロジェクトリーダー
中村 進一郎



講評



放射線部門



ケアプロセス調査



臨床検査部門



被災者に寄り添い、心のストレスを和らげるため

赤十字救護員「こころのケア研修」を実施

7月1日(金)令和4年度に新規登録となった赤十字救護員を対象とした「こころのケア研修」を開催いたしました。

近年は、自然災害の中でも大雨被害が特に多く発生し、これまでの平穏な生活が一変し、避難所で不自由な生活を余儀なくされる方々も多くみられ、自宅の片づけや、復旧に取り組みながらの避難所での生活は個々に大きな心身の負担が強いられます。

赤十字では、こうした避難所を中心に、こころのケア要員を派遣し、被災者と寄り添いながら、少しでも心の

ストレスを和らげるための活動を行います。

こうした「こころのケア」を実践するには、要員としての知識、被災者との接し方、また、派遣される救護員のスタッフのケアも必要となるため、要員となった場合は全員が「こころのケア研修」を受講し、派遣する側、される側の大変さについて事前に学ぶことになります。

研修終盤では、ロールプレイを行い、救護者側役と被災者側役をお互いに演じる事で、より被災地でのこころのケア活動についての理解が深まりました。

社会課長(救護員指導担当者) 大西 勝彦



一人ひとりの情報セキュリティ意識を高めるために

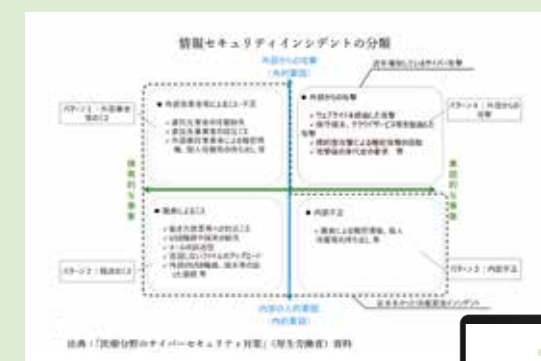
情報セキュリティ研修会の実施について

7月13日(水)に管理棟5階大会議室にて外部講師をお招きし、全職員対象に情報セキュリティ研修会が開催されました。

情報通信技術の発展により、私たちは情報を容易にやり取りできるようになった反面、外部からのサイバー攻撃による業務停止や個人情報漏えいの規模拡大など甚大な被害が発生するようになってい

ます。令和4年度診療報酬改定では400床以上の保険医療機関について、少なくとも年1回程度定期的に必要な情報セキュリティ研修を実施することが施設基準として追加されるなど、事業者に対する一層の情報セキュリティ対策が求められています。

研修会では最近のコンピュータウイルスの特徴、パスワード管理の具体的な対策事例や医療者が取扱っている情報は要配慮個人情報に該当し、通常の個人情報より厳格な取扱いをしなければいけないことなどがテーマとして取り上げられました。また、個人情報の取扱いにつ



ては医療安全と同等レベルであり、インシデント報告など報告体制を確立することの重要性について話されました。

情報セキュリティ対策・個人情報保護については、事業者のみならず職員一人ひとりが意識を高めていくことが重要となります。

情報管理課長 山名 伸之



地域の支援の輪が広がるように

医療的ケア児研修会について

皆さん、「医療的ケア児」という言葉をご存じでしょうか? 医療的ケア児とは、日常的に行われている、痰の吸引・経管栄養・気管切開の衛生管理などの医行為を必要とする児童のことを言います。日本では、医療的ケア児が年々増加しており、2022年に医療的ケア児支援法が施行されました。当院でも、多くの医療的ケア児が受診され、他機関と連携しながらお子さんの成長発達とご家族の療育支援を続けてきました。このたび、医療的ケア児の支援に関し一人でも多くの方々に感心をもって頂き、地域の支援の輪が広がるよう、当院主催の医療的ケア児への支援に関する研修会を行うことになりました。地域の診療所や訪問看護

ステーション、教育機関等に研修会のご案内をさせて頂いたところ、第一回は、会場参加23名、ウェブ参加41名、計64名の参加者があり、多くの方々に受講して頂くことが出来ました。今後も二ヶ月に一回、テーマを変えて研修会を実施する予定です。研修案内はホームページに掲載致しますので、是非お申し込み下さい。

地域医療連携課 医療社会福祉係長 河南 孝子



	開催日程(予定)	内容	担当(予定)
第一回(終了)	令和4年9月10日(土) 14:00~16:00	小児看護・医療的ケア児概論	新生児集中ケア認定看護師 大谷 悠帆 小児プライマリケア認定看護師 不田 貴希
第二回	令和4年11月19日(土) 14:00~16:00	小児の解剖及び医療的ケア	小児外科部長 福澤 宏明 小児科部長 高見 勇一
第三回	令和5年1月21日(土) 14:00~16:00	医療的ケア児に対するリハビリテーションと呼吸管理	神経系専門理学療法士・NIDCAPレナラー・APIBプロフェッショナル 言語聴覚士 藤本 智久 小児プライマリケア認定看護師 中野 朋子 不田 貴希
第四回	令和5年3月11日(土) 14:00~16:00	医療的ケア児に関わる社会福祉制度と家族支援	看護師長 内海 尚美 看護師長 世良 優子 看護師長 船曳 幸代 医療ソーシャルワーカー 河南 孝子



Cooperation Message

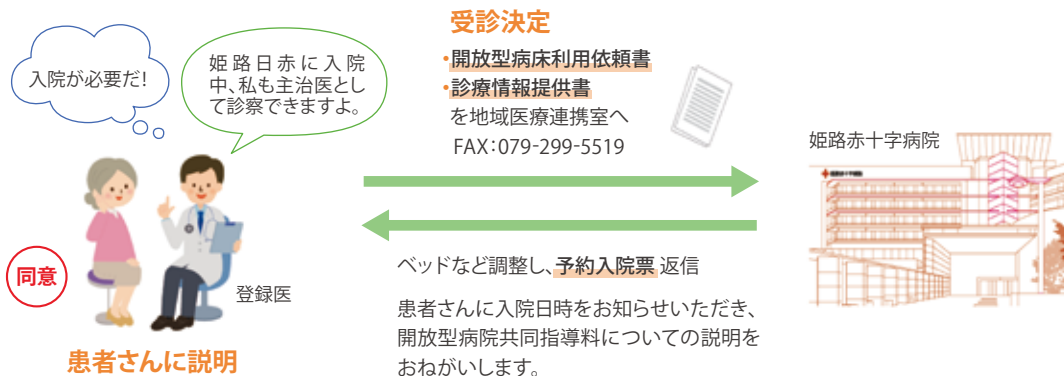
地域医療連携室

開放型病床について

地域の先生方 姫路赤十字病院にお越しください

当院では、地域の連携医療機関との密接な連携と機能分担の促進、病床の有効活用を図ることを目的として開放型病床を整備しております。患者さんの主治医である地域の先生方が、患者さんに対して入院加療が必要だと判断し、姫路赤十字病院の開放型病床を利用させていただいた場合、当院の主治医と共に入院患者さんに共同指導を行っていただけます。患者さんの入院期間中、お時間ございましたら当院へお越しください。

開放型病床利用の申込手順



共同指導の手順 ~患者さんが開放型病床へ入院されたら~

来院が可能な日時を事前に教えていただければ、当該患者さん・当院主治医・師長に連絡を取り、当日は先生を地域医療連携室職員が病棟へご案内させていただきます。



診療報酬について

登録医の先生が姫路赤十字病院で開放型病床入院の患者さんに共同指導を行った場合、1回につき開放型病院共同指導料 (I) 350点算定できます。

お問い合わせ・連絡先
姫路赤十字病院 地域医療連携課:079-299-5514 (直通)



姫路赤十字病院 臨床指標

臨床指標は、医療の質を具体的な数値として示したものです。

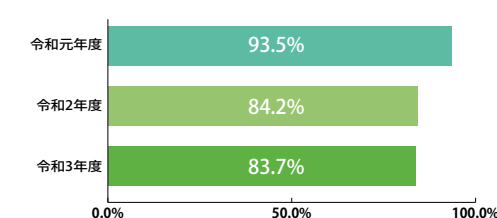
当院の臨床指標は主に、プロセス指標（実際に行われた診療や看護の内容）とアウトカム指標（実施した診療や看護の結果）からなり、これらの経年的変化を評価・分析することで、医療の質の向上に役立っています。

この度、令和3年度の臨床指標を取りまとめましたので、一部を公表させていただきます。

なお、ホームページ上では、その他の指標につきましても公表しておりますので、併せてご覧ください。

姫路赤十字病院 事務部 企画課

●病床稼働率

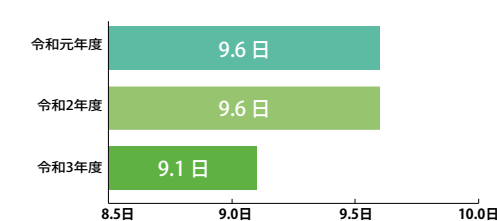


分子	延入院患者数
分母	病床数×365日

指標の説明

病床稼働率とは、実働病床数に対して、入院患者がどのくらいの割合で入院していたかを示す指標です。入院を必要とする患者さんのために病床を効率的に利用することが求められています。

●平均在院日数



分子	年間在院患者延数
分母	(年間新入院患者数+年間退院患者数)/2

指標の説明

患者さんが平均で何日間入院しているかを示す指標です。在院日数を短縮するには、適切な治療だけでなく、退院に向けて地域の病院・診療所・施設などとの連携強化が必要になります。

戦地で救護にあられた方々を追悼 救護看護婦像へ献花

当院では、毎年終戦の日に合わせて、第2次世界大戦中に日本赤十字社から戦地へ派遣され、殉職した救護看護婦らを追悼し、敷地内の救護看護婦像に献花と黙祷を捧げています。今年も岡田院長が追悼の辞を述べた後、参列者全員で1分間の黙祷を捧げました。

犠牲を顧みず、過酷な戦場でおびたごしい傷病者を献身的に支えた先輩方に思いをはせました。

総務課





研修開催情報

令和4年度 姫路赤十字病院 看護部研修開催予定一覧

※日程は変更する可能性がありますので担当者までお問合せください。
 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響から研修会を中止する場合があります。
 ※参加の際はマスク着用・体調管理シートの記載をお願いしています。
 ※e-ラーニング導入により、記載している研修が一部受講できない可能性があります。

▶レベルI研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
10/19 13:30~14:30	看護技術研修「活動・休息」	床上臥床による身体の影響(実技)	皮膚・排泄ケア認定看護師	レベルI
11/8 13:30~14:30	看護技術研修「医療安全②」	医療安全について 新人看護師が起こしやすい事故事例傾向について	看護係長	レベルI
12/16.19 13:30~14:30	多重課題演習	多重課題、時間切迫状況場面における基礎的看護技術の演習	教育担当者・看護係長・実地指導者	レベルI
1/10 13:30~14:30	グローバルヘルス	グローバルヘルスについて	看護副部長又は看護係長	レベルI
2/22 13:30~14:30	看護倫理I	看護師にとっての看護倫理について	看護係長	レベルI
3/10 13:30~14:30	心に残った看護場面「事例をナラティブに書いて語ろう」	ナラティブ事例の発表・共有	看護係長	レベルI

▶レベルII研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
10/25 13:30~14:30	キャリア開発II	キャリア開発について	看護副部長	レベルII
11/15 13:30~14:30	看護と受容的態度	受容的態度でコミュニケーションスキルを理解する	緩和ケア認定看護師	レベルII
1/20 13:30~14:30	後輩を支援しよう	後輩育成/リフレクション	教育担当者	レベルII
2/7 13:30~14:30	グローバルヘルスII	国内外の保健・医療・看護・福祉の動向について知る	看護副部長又は看護係長	レベルII

▶レベルIII研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
10/12 13:30~14:30	看護倫理III	倫理的問題分析	がん専門看護師	レベルIII
12/7 13:30~14:30	キャリア開発支援III	キャリア開発について	看護副部長	レベルIII
12/16.19 13:30~14:30	多重課題演習	多重課題、時間切迫状況場面における基礎的看護技術(レベルI)の支援	教育担当者・看護係長	レベルIII
1/25 13:30~14:30	実地指導者研修	新人看護職員の理解/実地指導者の役割の理解	教育担当者	レベルIII
2/15 13:30~14:30	実習指導	青年心理、教育方法/実習指導者の役割/カンファレンスの持ち方	実習調整担当者	レベルIII
3/15 13:30~14:30	グローバルヘルスIII	災害時、被災地域の文化やその地域の特性をふまえ、過酷な環境下での事故の危機管理・セルフマネジメントについて学習できる	看護副部長又は看護係長	レベルIII

▶看護補助者研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
2/17 13:30~14:30	守秘義務・個人情報と倫理	個人情報保護に基づく守秘義務・倫理・ハラスメントについて	看護副部長	看護補助者

▶専門・認定看護師研修

実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
10月未定	皮膚・排泄ケア	褥瘡ケア研修	皮膚・排泄ケア認定看護師	全体
10/18 17:15~18:15	がん看護研修STEP1	第1回 緩和ケア概論 当院の緩和ケア提供体制について	がん看護専門看護師 緩和ケア認定看護師 がん化学療法認定看護師 乳がん看護認定看護師	全体
10/18	集中ケア	敗血症患者の看護	集中ケア認定看護師	全体



実施予定日時	研修名	テーマ・主な内容	講師	対象者
10/21	静脈注射研修	静脈注射レベルIII (がん薬物療法)	がん看護専門看護師 緩和ケア認定看護師 がん化学療法認定看護師 乳がん看護認定看護師	全体
10/26	手術看護	周術期看護(一般編)	手術看護認定看護師	全体
10/29	認知症看護	地域医療機関向け認知症ケア研修	認知症看護認定看護師	全体
11/1	がん看護研修STEP2	第6回 がん患者のリハビリテーション がん治療とお食事のお話し	がん看護専門看護師 緩和ケア認定看護師 がん化学療法認定看護師 乳がん看護認定看護師	全体
11/10	集中ケア	アセスメント力を身につけよう	集中ケア認定看護師	全体
11/11	中はりま がん看護事例検討会	幼い子どもをもつがん患者 ミニレクチャー+事例検討	がん看護専門看護師 緩和ケア認定看護師 がん化学療法認定看護師 乳がん看護認定看護師	全体

看護師研修、専門・認定看護師研修について 詳しくは https://himeji.jrc.or.jp/kangobu/kyouiku_program.html をご覧ください。

問い合わせ先 **姫路赤十字病院 看護部** TEL 079-294-2251(内線3001) / FAX 079-296-4050

患者さんのご紹介はぜひ**FAX紹介**をご利用ください

当院では、地域の先生方との緊密な連携と役割分担を図りつつ、より良い医療を提供していくことで、地域医療の充実を目指しています。

紹介状をお持ちでない患者さんが当院を受診された際は、まず、かかりつけ医を受診していただくようお願いしていますので先生方のご支援を賜りますようお願いいたします。

また、紹介状をお持ちでも直接来院された場合、来院された日に受診出来なかったり、待ち時間が長くなったりとご迷惑をおかけすることがありますので、是非FAX紹介をご利用くださいますようお願い申し上げます。

FAX紹介受付時間 平日 8時30分~19時まで 土曜日 8時30分~12時まで

診察日 原則 1週間以内 *但し、検査・診療科・診療内容により及び希望日が集中する場合がございますのでご了承ください。

問い合わせ先 地域医療連携課
TEL:079(299)5514(直通) FAX:079(299)5519(直通)

がん相談支援センター

当院では、がんでお悩みの患者さんやご家族の方が安心してご相談いただける窓口として「がん相談支援センター」を設置しております。当院の患者さんやご家族はもちろん、地域の方、当院かかりつけでない方もご利用いただけます。

相談予約 あらかじめ電話でのご予約をお願いいたします **受付時間** 平日 8:30~17:00

病院代表: 079-294-2251

直通: 079-299-0037 **相談時間** 1回60分程度

また、当院2Fエントランスホールの相談支援センターブースでも相談・予約を承っております。